

令和7年度（英語コミュニケーションⅡ） シラバス

教 科	外国語	科 目	英語コミュニケーションⅡ		
単 位 数	4	学 年	2	類 型	共通
教 科 書	LANDMARK English Communication Ⅱ（第一学習社）				
学習目標	英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	L1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan L2 A Message from Emperor Penguins L3 Tokyo's Seven-minute Miracle R1 The Selfish Giant	・海外の視点から見た日本の不思議について書かれた文章を基に、興味深い日本文化について表現する。 ・コウテイペンギンの生態に関する文章を基に、気候変動のため絶滅の危機にある動物について表現する。 ・新幹線の清掃員の仕事について書かれた文章を基に、世界に誇れる日本の技術について表現する。 ・時間とともに変化する言葉について書かれた文章を基に、言葉の変化の実例について表現する。
2 学期	L4 Seeds for the Future L5 Language Change over Time L6 Gaudi and His Messengers L7 Letters from a Battlefields L8 Edo: A Sustainable Society	・タネの保全のための取り組みについて書かれた文章を基に日本の食料自給率について情報や自分の考えを表現する。 ・ガウディと外尾悦郎さんについて書かれた文章を基に、今後の観光者数の推移について情報や自分の考えを表現する。 ・戦場からの手紙について書かれた文章を基に、自分にとって特別な人に伝えたいことを表現する。 ・江戸時代の持続可能な社会について書かれた文章を基に、日常生活の中で「もったいない」と思うことや製品の再利用の具体例について表現する。
3 学期	L9 Biodiesel Adventure: From Global to Glocal L10 Our Future with AI R2 Gender Equality Is Your Issue, Too	・山田周生さんの取り組みについて書かれた文章を読み、日本のエネルギー消費における問題点とその解決策について表現する。 ・AI とその活用について書かれた文章を基に、人間と AI の共存について自分の考えを表現する。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを伝える際に、発表のときに必要な表現やパラグラフ構造などの知識を活用することができる。	・定期考査 ・課題の記述内容 ・小テスト
思考・判断・表現	・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文でわかりやすく書いて伝えることができる。	・定期テスト ・課題の記述内容 ・パフォーマンステスト
主体的に学習に取り組む態度	・聞き手や読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英語で発表しようとし、話し手の意図などを念頭に主体的・自律的に英文を聞こうとしている。	・教師による行動観察 ・パフォーマンス課題の取り組み方 ・週末課題の取り組み方